

<神戸はっぴい会 様>

上映日:2017/12/16(土) 場所:兵庫県民会館けんみんホール(兵庫県神戸市中央区)



集合写真



妻 鎬洙(ペ ホス)さん(ケアニンの脚本監修)の講演も実施

上映後、スタッフの手をにぎり「すごくよかったよ」と言っていました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

介護サービスの質の向上と人材確保を目的に複数の中小介護事業所が協同して、研修会や就職説明会を3年ほど前から実施しており、今回、その一環として、「神戸はっぴい会」の活動を広く知っていただきたいために実施しました。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

神戸に拠点を置く、中小の通所介護、訪問看護、訪問介護、定期巡回随時対応訪問介護看護、サービス付き高齢者向け住宅などを運営する4法人と人材育成教育研修を行う事業所が事務局を担当しました。

●協力の得られた団体はありましたか？

これまでの各社、お付き合いのある事業所にサポーターとなっていただきました。

●資金はどのように捻出しましたか？

通所介護、訪問看護、訪問介護などを運営する4法人が最終的に折半しました。

●地域へどのように告知をしましたか？

チラシを作成し、神戸市及び近隣の市町村にある、大学、高等学校や専門学校、約280ヶ所に招待のチケットを同封しDMを発送しました。その結果、ある看護学校は全校生徒に鑑賞するように先生が奨めていただき、全校生徒が鑑賞されました。また、Facebookにページを作成し、アップしたところ、徐々に拡散し、多くの方に知っていただくことになり、最終的には2回の上映で300名以上の方にお越しいただきました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

観に来られた方から、「よかったよ。」との感想とともに、介護事業所を運営する法人のオーナーや管理者の方から「全従業員に観せたいがどのような方法があるか」などいろいろお問合せがありました。また、ある高等学校の先生から「OGから観てすごくよかった、ぜひ、生徒に観せてあげてほしいと連絡があった、どうすれば上映会ができるのか」との問い合わせもありました。

また、上映会前半は「ケアニン」の脚本監修も担当された妻 鎬洙(ペ ホス)さんに講演をお願いし、認知症についてや映画の押さえておきたいポイントについてお話しいただきました。

エンドロールが流れ終わった時、大きな拍手が沸き起こりました。ケアニンを皆様と共有できた感動的な瞬間でした。映画の上映後、お帰りになられる際、アンケートの回収を担当していたスタッフの手をにぎり「すごくよかったよ」と言っていただく方も多く、スタッフも皆、開催してよかったとの思いでした。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

ぜひ、上映会を開催して下さい。小規模の上映会であれば、上映の後にそれぞれ感想を語る機会を設けてみるのもよいと思います。

ご担当者:河野 次雄さん

神戸はっぴい会
<https://www.facebook.com/kobehapclub/>
「神戸はっぴい会」は神戸市内で介護保険サービス事業を展開する事業者で、高齢の方々やそのご家族、そしてスタッフのしあわせを願って様々な活動を行う有志のグループです。